

**第 24 回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会**  
**第 28 回 (公社) 長野県柔道整復師会少年柔道大会**  
**実施要項**

- 1 趣 旨 柔道の普及・発展と次代を担う少年・少女の健全育成を目的に、未来のチャンピオンをめざす県内の小学生が一堂に集い、試合をとおして交流し、礼節・自立・高潔・品格を養うとともに誠の友情を育み、日ごろの稽古の成果を試す機会とする。 4
- 2 主 催 長野県柔道連盟
- 3 共 催 (公社) 長野県柔道整復師会
- 4 主 管 東信柔道連盟
- 5 後 援 長野県 長野県教育委員会 長野県警察 (公財) 長野県体育協会 上田市  
上田市教育委員会 (一財) 上田市体育協会 信濃毎日新聞社 SBC 信越放送  
上小柔道連盟 上田柔道協会
- 6 協 賛 長野県遊技業協同組合
- 7 日 時 令和元年 6 月 23 日 (日) 受付・計量 (5・6 年生) 8:30～審判会議 9:00～開会式 9:30～
- 8 場 所 上田市自然運動公園総合体育館上田市大字下之郷 935 TEL:0268-38-7195
- 9 試 合 ①男女別、小学校 1 年生から 6 年生までの学年別・個人戦トーナメント戦とする。  
②審判は国際柔道連盟試合審判規定で行い国際柔道連盟試合審判規定及び「少年大会特別規定」を適用する。(平成 30 年 4 月から適用の新ルール適用とする。)  
③試合時間は、小学 1 年生～4 年生は 2 分間、小学 5 年生及び小学 6 年生は 3 分間とする。  
④得点差がない場合は僅少差 (旗判定) をもって勝敗を決する。(GS は行わない)  
⑤本大会は全国小学生学年別柔道大会長野県予選会を兼ねる。  
⑥本大会は日整全国少年柔道大会長野県選手選考会を兼ねる。
- 10 参加選手 ①長野県柔道連盟に登録している上記学年の児童で北信、東信、中信、南信柔道連盟から推薦された選手。  
②小学 1 年生～4 年生は、各地区、男女それぞれ 8 名とする。  
③小学 5 年生(平成 20 年 4 月 1 日以降に生まれた者)は、男子 45kg 以下級・45kg 超級、女子 40kg 以下級・40kg 超級とし各地区、男女それぞれ各階級 4 名とする。

- ④ 小学6年生(平成19年4月1日以降に生まれた者)は、男子 50kg 以下級・50kg 超級、女子 45kg 以下級・45kg 超級とし各地区、男女それぞれ各階級 4 名とする。
- ⑤ 参加選手で柔道を修行し約6か月満たないものは参加を認めない。  
6か月とは総修行期間を表す。(例 柔道を始めて二か月後に骨折をして約二か月の休養後一か月の修行をし、合計六か月⇒参加はできない)

- 11 表彰 小学1年生～4年生の男女それぞれの優勝者、準優勝者、3位(2名)を表彰する。  
小学5・6年生の各階級、男女それぞれの優勝者、準優勝者、3位(2名)を表彰する。

小学4・5・6年生の各階級の中から日整全国少年柔道大会長野県代表に選出された選手に認定証を授与する。

- 12 組み合わせ ①各地区の予選結果を元に主催者が行う。  
②出場者の少ない学年は、トーナメント表が変則的になる場合がある。
- 13 参加料 一人2,000円 各地区柔道連盟は事前に徴収し、大会当日事務局に支払うものとする。
- 14 申し込み 各地区柔道連盟は出場選手を取りまとめ、決められたフォーマットで「大会出場選手名簿」を作成し、令和元年6月2日(日)までにメールに添付の上、提出のこと。  
申込先:〒386-0014 上田市材木町2-12-1 長野県柔道連盟普及部事務局宛  
TEL0268-22-3494 email takayuki@po5.ueda.ne.jp

- 15 全国大会 小学5・6年生の各種別優勝者を8月11日(日) 愛媛県立武道館で行われる全国大会に推薦する。

小学4・5・6年生の各階級の入賞者の中から日整全国少年柔道大会長野県代表に選出された選手を10月に講道館で行われる全国大会に長野県選抜団体メンバーとして派遣する。

- 16 脳振盪対応  
について ①大会前1ヵ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)  
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 18 その他 ①試合中の負傷に対する応急処置は大会本部にて行う。  
②負傷、事故等の補償は、主催者が加入した傷害保険の範囲とし、その他の責任は一切負わない。  
③出場選手は、各自傷害保険へ加入すること。

- ④大切な成長過程にあることを重視し、減量は行ってはならない。
- ⑤出場選手には、保護者または保護者を代行できる者が同伴すること。
- ⑥出場選手、監督および保護者は、申し込みの時点で体格差のある選手との対戦が生じる場合があることを了承したものとする。
- ⑦日整全国少年柔道大会長野県代表選手選考は、小学4・5・6年生の各階級の中からベスト4以上の選手及び全国少年柔道大会・全国錬成大会の成績及び試合内容等を勘案し決定する。
- ⑧日整全国少年柔道大会代表監督及び代表選手選考は、(公社)長野県柔道整復師会会長が決定するものとする。
- ⑨大会会場(アリーナ)には大会役員・来賓・選手・監督・コーチ以外は入場を規制する。  
(監督・コーチは監督証・コーチ証を携帯すること)
- ⑩**※監督・コーチの立ち振る舞いについては、下記を参考にする。**
- (1)試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみ、選手に対して指示を与えることができる。試合続行中は、選手に対して指示を与えることが許されない。
- (2)次の行為を禁止する。
- ア. 試合を続行している最中に指示を出すこと。また、選手・監督席が準備されている場合、試合中に立ち上がること。
  - イ. 審判の判定に対し、コメントや批判、あるいは訂正を要求すること、またはこれらに対する遅延行為。
  - ウ. 対戦選手・審判・役員・一般客および自所属の選手を侮辱するような行為または言動。
  - エ. 設備あるいは物品を蹴ったり、殴ったり、叩きつけたりするなどの行為。
- 上記に違反した場合は、下記による処分を与えるものとする。**
- 1) 1回目は Jury を含めた審判員が合議の上、主審が口頭による注意をする。  
**※大会長や審判長は審判員へ発議を行っても良い。**
  - 2) 1回目の注意で改善されない場合は、Jury を含めた審判員が合議の上、大会長または審判長の責任の下にその試合が終了する(団体戦においては全ての試合が終了する)まで、試合場から退場させる。但し、選手のみになった場合でも試合はそのまま続行する。
  - 3) 次の試合以降は、再び監督行為を許可するが、その後も改善されない場合は、その日の監督行為が出来ない。  
**※上記の振る舞いは、観客の皆様も対象とするので、充分注意して下さい。**
- ⑪安全面の対応からヘッドギアの着用を認めます。

※ 本年度から下記のルールが全国大会で適用される予定です。その為予選会でも適用予定です。

・新罰則（指導）の内容 試合中に柔道衣が乱れ、帯より外に上衣の裾（背部を含む）が出た場合、主審の「待て」から「始め」の間に、選手自ら素早く服装を直すこと。主審が「待て」を掛けても、乱れた柔道衣を直そうとせず、放置し乱れたまま「始め」を待っている時に、主審より柔道衣を直すよう指示された場合、これを1回目とカウントし、2回目以降はその都度「指導」が与えられる。合わせて帯も、本人が緩く結ぶことが原因で解け、自ら固く結び直さず主審から指示された場合もカウントの対象となる。選手は「待て」から「始め」までの間に、自ら素早く服装を直し、帯を固く締めなければならない。但し、積極的な試合展開で、例えば柔道衣の上衣がすっぽり脱げた場合に服装を直す指示を主審が行ってもカウントされない。あくまでも、場外や寝技の停滞などで「待て」が掛かった場合、選手が柔道衣の乱れを放置し、主審から指示された場合にカウントされる。「待て」の後、選手が自ら柔道衣を直そうとする場合、「髪の結直し」と同じく少し猶予を与える。帯を解いて服装を直す場合は、従来通り主審の指示・許可がなければならない。※背部の裾の長さが臀部を覆っていない、体幹部が細く胸元の合わせ目が浅い等は、柔道衣の乱れやすさの一因である。上記罰則を導入するにあたり、柔道衣コントロールをより厳密に行う様に徹底して頂きたい。